

事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成24年度～平成25年度(2年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	菅生1(すげおい1) (徳島県)	事業実施主体	四国森林管理局 徳島森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、徳島県西部三好市祖谷川の上流域に位置している。地質構造は、御荷鉾構造線と仏像構造線に挟まれた秩父帯に属し、緑色片岩からなる脆弱な地質である。</p> <p>平成17年9月の台風14号に伴う集中豪雨により、山腹崩壊、溪岸浸食が発生し、その後も平成18年、平成23年の台風等による集中豪雨により、現在も溪床及び山腹斜面に多量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、崩壊地、荒廃溪流の復旧整備を実施し、下流にある国道の保全を図るとともに水土保持機能の維持向上を図るものである。</p> <p>主な保全対象 国道200m 主な事業内容 溪間工2基 山腹工0.3ha 総事業費 80,000千円</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	63,609千円	
	総便益(B)	水源涵養便益	38,090千円
		山地保全便益	195,397千円
		環境保全便益	856千円
	計	234,343千円	
	分析結果(B/C)	3.68	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性: 山腹崩壊地、溪床に堆積している不安定土砂及び林地荒廃を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、下流の国道等に被害が及ぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・有効性: 本事業の実施により、崩壊地の復旧や溪床に堆積している土砂の安定化が図られ、水土保持機能の維持・向上が期待できることから、有効性が認められる。 ・効率性: 費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 		

整理番号

1

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：徳島県

施工箇所：徳島県三好市(菅生1)

(単位：千円)

大区分	中区分	評価額 B (千円)	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	16,171	
	流域貯水便益	8,756	
	水質浄化便益	13,163	
山地保全便益	土砂流出防止便益	195,381	
	土砂崩壊防止便益	16	
環境保全便益	炭素固定便益	856	
便 益 合 計 (B)		234,343	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		63,609	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{234,343}{63,609} = 3.68$		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成24年度～平成27年度(4年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	柞多尾(くぬぎたお) (香川県)	事業実施主体	四国森林管理局 香川森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、香川県南西部の徳島県境に位置している。地質構造は、中央構造線の内帯にあたる領家帯に属し、砂岩、泥岩の互層で脆弱な地質である。</p> <p>また、年間降水量1,100mm程度であり全国的にも雨の少ない地域である。平成16年8月～10月にかけての台風による豪雨及び平成23年の度重なる台風等により、土砂の流出及び山腹崩壊が見られ、下流の家屋や県道、林道に災害の危機をもたらした。</p> <p>現在も溪床内に多量の不安定土砂が堆積しており、今後の降雨によっては、流出のおそれが危惧される状況である。</p> <p>このため、崩壊地、荒廃溪流の復旧整備を実施し、下流にある家屋、県道等の保全を図るとともに、過密林分となっているヒノキ人工林の地表面土砂の流亡が危惧されるため林内に陽光を入れ、下層植生を促進させることを目的に本数調整伐を実施し、水土保持機能の維持向上を図るものである。</p> <p>主な保全対象 家屋10戸、県道100m、林道500m 主な事業内容 溪間工4基 山腹工0.3ha 本数調整伐11ha 総事業費 150,000千円</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	137,052千円	
	総便益(B)	水源涵養便益	32,222千円
		環境保全便益	1,842千円
		災害防止便益	389,779千円
	計	423,843千円	
	分析結果(B/C)	3.09	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地、溪床に堆積している不安定土砂及び林地荒廃を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、下流の家屋等に被害が及ぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・有効性： 本事業の実施により、溪床に堆積している土砂の安定化及び崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能の維持・向上が期待できることから、有効性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 		

整理番号

2

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：香川県

施工箇所：香川県まんのう町(杵多尾)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 B (千円)	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	15,855	
	流域貯水便益	6,538	
	水質浄化便益	9,829	
環境保全便益	炭素固定便益	1,842	
災害防止便益	山地災害防止便益	389,779	
便 益 合 計 (B)		423,843	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		137,052	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{423,843}{137,052} = 3.09$		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成24年度～平成26年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	笹郷山(ささごうやま) (愛媛県)	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、愛媛県南西部の足摺宇和海国立公園に隣接する地域に位置している。地質構造は、四万十帯に属し、砂岩及び泥岩からなる脆弱な地質である。</p> <p>平成16年8月～10月にかけての台風による豪雨及び平成23年の度重なる台風等により、土砂が流出し、溪床に多量の不安定土砂が堆積している。</p> <p>このため、荒廃溪流の復旧整備を実施し、下流にある林道の保全を図るとともに水土保持機能の維持向上を図るものである。</p> <p>主な保全対象 林道400m 主な事業内容 溪間工3基 総事業費 75,000千円</p>		
費用対効果分析	総費用 (C)	54,759千円	
	総便益 (B)	水源涵養便益	5,920千円
		環境保全便益	296千円
		災害防止便益	93,257千円
	計	99,473千円	
	分析結果 (B/C)	1.82	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に堆積している不安定土砂及び林地荒廃を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、下流の林道等に被害が及ぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・有効性： 本事業の実施により、溪床に堆積している土砂の安定化が図られ、水土保持機能の維持・向上が期待できることから、有効性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 		

整理番号

3

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：愛媛県

施工箇所：愛媛県宇和島市(笹郷山)

(単位：千円)

大区分	中区分	評価額 B (千円)	備考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,518	
	流域貯水便益	1,359	
	水質浄化便益	2,043	
環境保全便益	炭素固定便益	296	
災害防止便益	山地災害防止便益	93,257	
便 益 合 計 (B)		99,473	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		54,759	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{99,473}{54,759} = 1.82$		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成24年度～平成27年度(4年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	坂瀬山(さかせやま) (高知県)	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、高知県中央北部の愛媛県境に位置している。地質構造は、三波川帯に属し、緑色片岩からなる脆弱な地質である。</p> <p>平成16年8月～10月にかけての台風による豪雨及び平成23年の度重なる台風等により、土砂が流出し、溪床に多量の不安定土砂が堆積している状況である。</p> <p>今後の降雨によって荒廃が拡大し、下流域の県道等に被害を及ぼすおそれが高いことから、溪岸浸食の拡大防止を図り、併せて溪床内の不安定土砂流出を防止するため、溪間工の設置を実施する。</p> <p>主な保全対象 県道200m、林道200m 主な事業内容 溪間工4基 総事業費 150,000千円</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	107,424千円	
	総便益(B)	水源涵養便益	99,223千円
		山地保全便益	435,299千円
		環境保全便益	4,208千円
		計	538,730千円
	分析結果(B/C)	5.02	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に堆積している不安定土砂及び林地荒廃を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、下流の県道等に被害が及ぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・有効性： 本事業の実施により、溪床に堆積している土砂の安定化が図られ、水土保持機能の維持・向上が期待できることから、有効性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 		

整理番号

4

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：高知県

施工箇所：高知県本山町(坂瀬山)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 B (千円)	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	41,975	
	流域貯水便益	22,868	
	水質浄化便益	34,380	
山地保全便益	土砂流出防止便益	435,296	
	土砂崩壊防止便益	3	
環境保全便益	炭素固定便益	4,208	
便 益 合 計 (B)		538,730	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		107,424	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{538,730}{107,424} = 5.02$		

事前評価個表

事業名	復旧治山事業	事業計画期間	平成24年度～平成26年度(3年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	長又(ながまた) (高知県)	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、高知県中央北部の寒風山トンネル近くの愛媛県境に位置している。地質構造は、三波川帯に属し、緑色片岩からなる脆弱な地質である。平成16年8月～10月にかけての台風による豪雨及び平成23年の度重なる台風等により、土砂が流出し、溪床に多量の不安定土砂が堆積している状況である。</p> <p>今後の降雨によって荒廃が拡大し、下流域の林道に被害を及ぼすおそれが高いことから、溪岸浸食の拡大防止を図り、併せて溪床内の不安定土砂流出を防止するため、溪間工の設置を実施する。</p> <p>主な保全対象 林道100m 主な事業内容 溪間工3基 総事業費 95,000千円</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	85,237千円	
	総便益(B)	水源涵養便益	82,602千円
		山地保全便益	350,891千円
		環境保全便益	144千円
	計	433,637千円	
	分析結果(B/C)	5.09	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪床に堆積している不安定土砂及び林地荒廃を放置すれば、荒廃地の拡大が懸念され、下流の林道に被害が及ぶおそれがあることから本事業を実施するものである。 ・有効性： 本事業の実施により、溪床に堆積している土砂の安定化が図られ、水土保持機能の維持・向上が期待できることから、有効性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から本事業の効率性が認められる。 		

整理番号

5

便 益 集 計 表

(治山事業)

事業名：復旧治山

都道府県名：高知県

施工箇所：高知県いの町(長又)

(単位：千円)

大区分	中区分	評価額 B (千円)	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	27,646	
	流域貯水便益	21,953	
	水質浄化便益	33,003	
山地保全便益	土砂流出防止便益	350,888	
	土砂崩壊防止便益	3	
環境保全便益	炭素固定便益	144	
便 益 合 計 (B)		433,637	
事業費合計 (C) (様式2にて算出)		85,237	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{433,637}{85,237} = 5.09$		